

## 日本あちこち河川遡行記(第246回)

京都 1-2-2-2.鞍馬川 前半 平成30年6月22日(金)晴

大阪北部地震後の遡行に出かける。淀川の支流の桂川の支流の鴨川のまたその支流の「鞍馬川」に向かう。淀川の三次支流になる。朝早く新大阪までの「こだま」に乗ると使用車は「みずほ」、「さくら」に使っているN700系で7,8号車は本来指定席であるが、こだまの時は自由席となり4列シートの豪華席である。神戸通勤時からのなじみで当然7号車に乗る。普段はガラ空きのこだまでもこの時間帯は姫路から満席となる。

新大阪で新快速に乗り京都に向かう。神戸淡路震災後の耐震補強工事がほぼ終わったこともあり、震度6弱での橋の落橋、損傷などは発生していないようで道路、鉄道ともJR西の大幅な遅れを除き半日で運転が再開されている。JR西は地震発生後の強制停車させた列車を近畿一円一律に長時間停車させ、保線区員などの安全確認が手間取ったことで大幅に遅れた。民営化後の保線技術者の削減と異常時での対応が大雑把できめの細かさに欠けているのを感じる。素人が仕事をしている感じである。

茨木駅の手前までは大型建築物が連なり建物の損傷を車窓からは見られなかったが、茨木駅を過ぎると古い民家とアパートの屋根にブルーシートが掛けられているのが現れ、進むとともにその頻度が増していく。新駅の「JR総持寺」駅の手前で45kmの減速がかかりそろりそろりと駅を通過して行く。帰りも同様に駅東の跨道橋に問題が発生したのかも知れない。シートの密度がこの辺りが最大で高槻駅の手前からは無くなって来た。震源はやはり両市の境界付近の枚方寄りのようだ。

新快速がなんとあの京都駅の0番線に着く。日本一の長いホームで有名な0番線で、普段は北陸特急の着くホームであるが新快速も止ることもあるんだ。地下鉄に乗り「北大路」で下車し地表に出る。鞍馬に行くバスまで40分ほど有るのですぐ横の「スタバ」に入りバスを待つ。京都市電廃止に伴い南北に細長い烏丸車庫の跡に大型商業施設が入り、その地下に市営バスのバスセンターが入り、更にその下に地下鉄の北大路駅が建設された。洛北地区の市バスは全てこの地下に入り、地下鉄との連絡を便利にしている。1階のバスセンター入口には交通整理員が立ち、歩道の人と自転車の整理とバスへの合図をしている直ぐ西のスタバの入っているビルからは関電の車が出入りし、バスの整理員の動きに合わせてこちらの整理員が関電車に合図をしている。

センターの道向かいには浄土真宗(大谷派)の坊さんになる人が入る「大谷大学」の建物が佇んでいる。真宗は本願寺の位置に合わせて東(大谷派)と西(本願寺派)となっているが、北区(大谷大学)、伏見区(本願寺派、竜谷大

学)と大学は洛外の南北に有る。

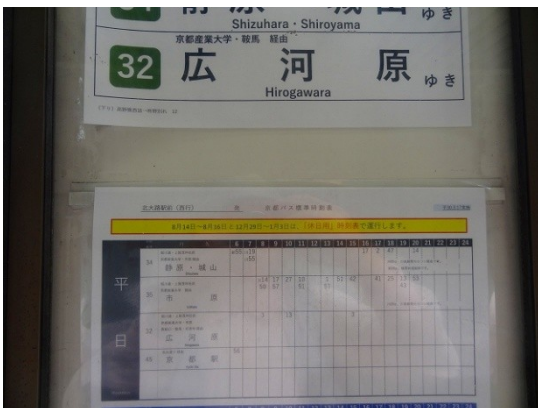


01.市電庫跡に大型商業施設と地下バスセンターと地下鉄駅が

02.BSの向かい側は浄土真宗の大学が有る

交差点南東側の前回の雲ヶ畑行きと同じバス停に向かい暫し待つ。今日乗るバスは「京都バス」の③②系統「広河原」行きで京阪の終点「出町柳」から北大路、鞍馬、花背経由の距離の長い路線で、起終点間の走行時間が2時間弱、1日3往復のバスで何と滅茶苦茶広い「左京区」内のみの走行で2時間も掛かるのである。区の面積は246.8km<sup>2</sup>も有り大阪市(225.2km<sup>2</sup>)よりも広い。右京区は更に広く292.1km<sup>2</sup>もある。上には上が在り、浜松市浜北区は943km<sup>2</sup>もあり、静岡市葵区は1,073km<sup>2</sup>、3千m級の山も有る。こんな政令指定都市と言えるのかいな？

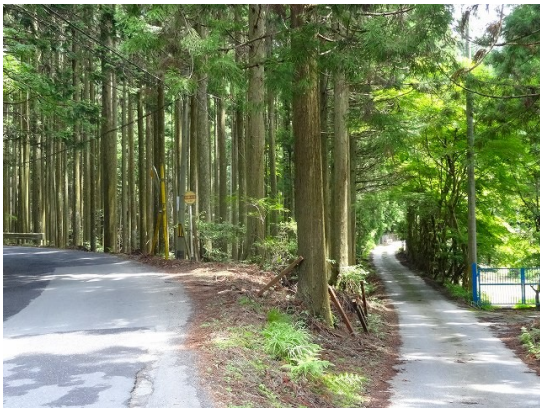
10時13分定刻にバスがやって来て4名が乗車する。途中でKS大学の学生が順次乗り込んできて満員となりビックリする。上賀茂神社の奥の山の中に出て来た大学は大きく、建物が点在し広いバス乗り場と校舎に向かう長いエスカレーターが設備されている。全員が下車し本来の少ない乗客数に戻り途中から現れた鞍馬川に沿って北上する。



03.1日3便の京都バス「広河原」行きに乗る

04.10時13分、定刻にバスは出町柳からやって来た

鞍馬の集落を越え時間を逆算してギリギリとなる「扶桑橋」バス停で下車する。バスは無線機を備え、1車線が多い府道の要所に控えている交通監視員からの無線指示に従いバスを走らせている。阿波の山奥でのコミバスと地元トラック等との交信を思い出す。なんだ洛北は阿波の山奥と変わらへんなー。



05.杉林の中の「扶桑橋」バス停で下車

杉林の中を直ぐの扶桑橋と思われる橋に行くと橋の種類さえ見えない前後の地形で、調査を諦めてやって来た道を南に向かう。西側の山の一面の杉が伐採され丸坊主になっている。この辺りの杉は平均的な大きさになるまで伐採していないようだ。

道端にはバスからの観光に来る車へのお願いが書いてある。自然豊かな所にはツェルマット（スイス）や上高地のようにマイカー規制を徹底し、規制口に広い駐車場を設け公共交通利用を図り、道路の新設、改良は控えるべきである。これからの観光は遊歩道の整備、多くの言語を入れた地図と解説板の整備が必要である。



06.オスギさん丸坊主になってはる



07.1車線の山道の府道をバスは走る

道を下って来ると何十年も前に立ち寄った鞍馬温泉の入口に着く。1kmほど

南の叡電「鞍馬」駅からはマイクロ送迎バスが走っており、京都バスの地下鉄の「国際会館」駅行きがここ発で1時間に2本も走っている。なんだ！電車が1時間に3本と合わせて1時間に5本も有るじゃん。さすが有名観光地である。



08.鞍馬駅からこの温泉までマイクロ送迎バスが有るよ

[ 続く ]